

長野県防災会議議事概要

日時：平成27年3月6日（金）13：30～14：50

場所：長野県庁 講堂

1 開会

2 挨拶

阿部長野県防災会議会長（長野県知事）

大変お忙しい中、防災会議の委員の皆様におかれましては、お集りいただきありがとうございます。また、平素から皆様方には長野県の防災・減災の取り組みについて、それぞれのお立場から格別の御尽力を賜り、まずは心から御礼申し上げます。

本年度の防災会議は、11月に続き、2回目の開催でございます。11月の防災会議では、昨年2月の大雪災害に関する検証結果のご報告と、それに関連した地域防災計画の修正について御審議いただいたわけです。

今、議会開会中でありまして、27年度当初予算案を御審議いただいております。私は来年度の予算の大きな柱として、防災・減災について、予算計上をさせていただきました。

昨年は、長野県は相次ぐ災害に見舞われる大変残念な年になりました。大雪、土石流、噴火そして地震と色々な災害に見舞われる形になりました。お亡くなりになった方々には改めて心からご冥福をお祈りいたします。まだ被災された方々の生活は元に戻っていません。皆様方と一緒にあって一刻も早く復興できるように全力で取り組んでいきたいと思っています。

こうした中で、防災・減災を大きな柱に据えて、昨年の災害から得られた教訓を生かして、災害対応に取り組んでいこうことで、予算編成をしてきました。大雪の対応はもとより、地震への備え、火山への対応、更には地域の防災力の向上、こうした観点から予算編成をすすめてきました。県議会の皆様方のご理解を得て予算を成立させていただき、地域の皆様、今日お集まりの皆様方と一緒にあって防災・減災の強化を進めていきたいと思っております。

今回の防災会議のおきましては、国の防災基本計画の反映、土砂災害防止法改正の反映、御嶽山噴火災害を受けての火山防災対策を中心として、地域防災計画の修正について御審議いただきたいと思っております。

忌憚のない意見をいただき、より良い計画になるようにご協力をいただきたいと思います。

どれだけ備えをしても、自然災害を全くなくすことは不可能であります。事前の備えをしっかりとしておくと同時に、いざ災害が起きた時には臨機応変な対応をしていくとともに、今日お集まりの関係機関の皆様方としっかりと連携して対応していきたいと思っています。私は昨年1年知事として様々な災害対応をする中で、警察・消防・自衛隊など多くの関係機関そして市町村はじめ地域の皆様に助けられてきたと思っています。

長野県全体の防災・災害対応が一層強化されますように、日頃から関係機関同士の顔の見える関係を築いていきたいと思っております。

災害対応は、県民の皆様方の暮らしを支える、そして生命財産を守るという我々県政の最も基本的な課題と思っておりますので、皆様の積極的なご意見をいただくことをお願い申し上げて、冒頭の挨拶としたいと思います。

3 会議事項

1) 県地域防災計画の修正案について

【資料 1-1】～【資料 1-5】により、危機管理防災課南沢防災係長、砂防課木村企画幹、道路管理課小林企画幹が説明。

2) 質 疑

特段の質疑等なく、原案のとおり地域防災計画の修正が了承された。

4 報告事項

(1) 地震対策部会における検討状況について

【資料 2-1】及び【資料 2-2】により、地震対策部会長の青柳危機管理監兼危機管理部長及び危機管理防災課担当者が説明。

第3次長野県地震被害想定検討委員会委員長の泉谷専門委員（信州大学工学部教授）から専門的見地を踏まえ説明。

(2) 原子力災害対策部会における検討状況について

【資料 3】により、原子力災害対策部会長の青柳危機管理監兼危機管理部長が説明。

(3) 火山防災対策について

【資料 4-1】及び【資料 4-2】により、玉井危機管理防災課長が説明。

荒牧専門委員（東京大学名誉教授）、三宅専門委員（信州大学理学部教授）、山岡専門委員（名古屋大学大学院環境学研究科教授）が専門的見地を踏まえ、担当火山毎に説明。

(4) 長野県神城断層地震について

【資料 5】の配布のみ

(5) 市町村地域防災計画の修正について

【資料 6】により、危機管理防災課南沢防災係長が説明。

5 連絡事項

6 閉 会